

登録コード:MH661102 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目（理学・作業）
科目名	教職論【理作20MJ以降】 Theory of Teaching Profession		
担当教員	小山 茂喜 他 橋本 萌		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻・作業療法学専攻／1年 前期 水曜・5時限		
単位数、講義室	2単位	共通教育28講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	非該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	教職に関する必要な知識を身につける。
	≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	教職に必要とされる資質能力について理解し、自らの適性について判断し、専門性を高めるために自ら学び続ける姿勢を育む。
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本講義では、教職に対する本質的な理解のために教職の意義や歴史を学んだ上で、教育公務員としての身分と服務、職務内容に関する知識を身につける。加えて教職で必要とされる資質能力について考え、自らの適性について判断し、今日求められている教員の役割を理解して、専門職として学び続ける姿勢を育むことを目的とする。 なお、本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいる。		
授業計画	教職への本質的な理解のために 第1回：教職とは：教員を目指す 第2回：教育の目的とは 第3回：日本における教員養成の歴史 第4回：発達課題に基づく子ども理解 教員の職務とチーム学校 第5回：教員の身分と服務 第6回：学級担任の仕事 第7回：特別支援教育 第8回：生徒指導、進路指導、保護者対応 第9回：教員の職場環境 〈中間レポートの提出〉 教員の役割 第10回：現代の教育課題① いじめ 第11回：現代の教育課題② 不登校 第12回：教員の養成と採用 第13回：教員の資質向上と研修 第14回：専門職としての力量形成 第15回：まとめ（授業内試験）・授業アンケート		
授業の進め方	毎回のリアクションペーパー、もしくは小課題の提出がある。中間レポートの作成・提出が必須である。授業内でのグループワークにおける積極的な参加が求められる。		
テキスト、教材、参考書	【教科書】 小山・藤井『よくわかる教職 教育実習・介護等体験安心ハンドブック』（学事出版2026）		
成績評価の方法	試験（50%）、毎回のリアクションペーパー、もしくは小課題（30%）、中間レポート（10%）、グループ活動等、授業内の取り組み（10%）により評価を行う。 ※授業回の最後に50点満点の試験を行う。 ※毎回のリアクションペーパーもしくは小課題は、授業内で課題を提示する。グループ活動等授業内の取り組みは、積極的な参加を評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 ※6回以上の欠席は「不可」とする。（※なお、リアクションペーパーの提出がない場合は「欠席」の扱いとなる。） 授業開始30分以降に入室した場合は、欠席として扱う。早退についても、特段の理由のない場合は減点の対象とする。 ※「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。		
成績評価の基準	6回以上の欠席は「不可」とする。（※なお、リアクションペーパーの提出がない場合は「欠席」の扱いとなる。）授業開始30分以降に入室した場合は、欠席として扱う。早退についても、特段の理由のない場合は減点の対象とする。		
事前事後学習の内容	授業のテキスト、授業のレジュメを予習復習し、最終試験に備えること。中間レポートがあるため、各自で参考文献にあたるなど、学習を深めること。※60時間以上の時間外学習に取り組む必要がある。		

学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問相談は、授業の前後の時間を基本とする。必要に応じて質問相談窓口へ連絡すること。 (質問相談窓口) 橋本：hashimoto_megumi@shinshu-u.ac.jp
-----------------------	---